

項目	説明内容				
(1) 計器用■既器の定格と受電容量の概要 (VCT) Or (MOF)	定格電流	20A	50A	100 A	200 ~ 40DA
	契約電力	200KW 以下	201 ~ 499KW	500 ~ 999KW	1,000KW 以上
	受電設備の増、滝設工事に際し、VCT の変更が発生する場 8 は躬期の都合上、早期に電力会社へ申し込みが必要で y, 電気炉等のように契約電力と瞬間最大電力に大きな差がある場さ、藩考慮費 $P(\text{契約電力 KW}) = \sqrt{3} E' \cos \theta \quad Ccs \quad \theta: \text{力率 } 90X \text{ 標準}$ 500KW 以上の豺群定格電源の目安 【= '...' ' - ' X が (A) 上式で算出した電流値の 20 ~ 100 % が VCT の容量となる定格電流とする。契約電力=一般的に契約設備電力とする。但しデマンド最大電力を ■先				
(2) 計器用変成器の取り付け位置	出迎方式	第 1 支持点と引込口開閉器の間			
	構内柱方式	原則として鸞円第 1 柱上 受電室に設置の壇き、DS.LA の電源側			
(3) i 迎え方式の電刀会社区分開閉器 FIS; 事故通報型高圧気中開閉楠	開閉器の種類	使用される需・設備			
	GAB (AOG 同等)	契約電力 500KW 未満の非塩害卸域の高圧需要設備で受電点の短絡容量が 100MVA 未満の場所 {無方向地絡・ヒューズく 2 相断による珀絡遅診機能西り}			
	FIS (SOG 同等)	塩客地域又は、契約電力 500KW 以 t の高圧需饗設備 (SOG 方式による過電流ロック、無方向地絡保塵循能両り)			
MEMO	受電設備構内の静電容量が大きな設備 (長経路ケーブル、6KV 高圧電動機、系統漕系発電設備等) の場合は地絡継電器の整定壇を檢討蒙				